

岐阜県産業技術総合センター 講演会 研究成果発表会 「繊維・紙業分野」 ～概 要～

- 日 時 ■ 令和8年9月29日（火） 14:00～16:30
■ 場 所 ■ 岐阜県産業技術総合センター実験棟A 2階 A201多目的ホール（関市小瀬1288）
■ 主 催 ■ 岐阜県産業技術総合センター
■ 参加費 ■ 無料

～ プログラム ～

1 講 演 14:05～15:05

演題：『素材本来の特性を正しく理解するための触感評価と最新技術』

講師：カトーテック（株）常務取締役 ^{かわうち} 河内 ^{けい} 敬 氏

繊維や紙の触り心地は、わずかな素材の違いでも大きく変化します。人の感覚だけでは判断が難しいその差を、試験機で客観的に数値化してみませんか。 KES®（ケス）風合い試験機は素材や製品の心地良さを評価するために開発され、現在では日本をはじめ世界 35 カ国で活用されています。本講演では、多様化する素材の触り心地を客観的に評価する KES®風合い試験機や最新技術 QUANTITEXTURE®（クオンティテクスチャー）、そして人による触り心地評価を一貫してサポートするアプリ TEXTUREVAL™（テクスチャーヴァル）をご紹介します。

2 研究成果発表 15:15～16:30

① 「繊維端材のリサイクルによる資源循環型部材開発に関する研究

一端材を原料とした吸音材の開発ー」 繊維・紙業部 主任専門研究員 ^{なかしま} 中島 ^{たかやす} 孝康
構成繊維同士が熱で融着されてボード状になっている製品の端材について、分解片を挟んだ構造の不織布を試作し吸音性を評価しました。

② 「繊維端材のリサイクルによる資源循環型部材開発に関する研究

ー異種ポリマーブレンド物の熔融紡糸技術の開発ー」 繊維・紙業部 研究員 ^{ほりぐち} 堀口 ^{ゆい} 結以
異種熱可塑性樹脂が混在する繊維端材を対象に、熔融紡糸法による再生繊維化を検討し、ポリエステル樹脂と変性ポリエステル（低融点樹脂）の混合物から繊維を作製して力学物性を評価しました。

③ 「繊維製品の快適性に関する研究」

繊維・紙業部 主任専門研究員 ^{やまのうち} 山内 ^{ひさみ} 寿美
ストレスフリーな衣服を目指し、同一デザイン・素材違いのブラウスを用いて、衣服圧や衣服内の気候の測定、着用アンケート実施により快適性を評価しました。

④ 「重量物用パルプモールドの軽量化技術の開発」

繊維・紙業部 主任専門研究員 ^{あさの} 浅野 ^{よしなお} 良直
重量物の輸送用緩衝材として用いられるパルプモールドの原料に、叩解したバージンパルプを補強材として添加して強度向上を図ることで、重量物用パルプモールドの軽量化について評価しました。

⑤ 「廃棄繊維を活用した抄紙技術の開発」

繊維・紙業部 専門研究員 ^{せんごく} 仙石 ^{ともあき} 倫章
綿繊維を粉碎し、針葉樹パルプと混ぜて叩解を行いタッピ抄紙しました。引張、破裂、引裂き強度を測定し綿繊維の含有による力学特性への影響を評価しました。